

石田まさひろ

参議院議員・自由民主党

MASAHIRO ISHIDA

1967年 奈良県大和郡山市生まれ。兵庫県・甲陽学院高等学校卒業。

1990年 東京大学医学部保健学科卒業。在学中は応援部の活動に精力を注いだ。

当時ほとんどいなかった男性の看護師として聖路加国際病院（内科）東京武蔵野病院（精神科）に勤務。その後、日本看護協会政策企画室長として看護関連政策の立案・調整に従事。続いて38歳で日本看護連盟幹事長に就任し各級選挙のかじ取りをする。2013年 比例区（全国）にて参議院議員初当選し、現在2期目。

現在の主な役職

参議院 議院運営委員会 理事

厚生労働委員会 委員

自民党 参議院自民党国会対策委員会 副委員長

厚生労働部会看護問題小委員会 副委員長

厚生関係団体委員会 副委員長

厚生労働部会雇用問題調査会 幹事

科学技術・イノベーション戦略調査会 幹事

医療情報政策・ゲノム医療推進特命委員会 幹事

エビデンスとしての厚生労働指標を考えるPT 副座長

女性局 次長

議連 患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟 事務局長

看護問題対策議員連盟 幹事



石田まさひろ

参議院議員・自由民主党

MASAHIRO ISHIDA

これまで担った国会における主な役割

- 参議院 厚生労働委員会 委員長
 沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員長
 財政金融委員会 理事
- 自民党 副幹事長
 厚生労働部会 副部会長
 財政金融部会 部会長代理
 ネットメディア局 次長
 性自認に関する特命委員会 事務局長代理
 新型コロナウイルスに関するワクチン対策PT 委員
 参議院自民党 副幹事長

国会議員になる前の
主な経歴

- 看護師として聖路加国際病院（内科）東京武蔵野病院（精神科）で勤務。長期入院患者の退院支援と地域生活支援で当時の日本を先導する大きな成果を上げる。難病患者等への訪問看護も経験。
- 衆議院議員秘書として政策補佐、地元事務所責任者等を経験。
- 日本看護協会で、政策企画部門と情報管理部門を同時立ち上げ。
- 日本看護連盟で、幹事長として全国組織のリフォームを企画・先導。現在の組織の力の基盤をつくる。各級選挙で選対実務責任者として候補者を当選に導く。

石田まさひろ

MASAHIRO ISHIDA

参議院議員・自由民主党

2022年10月現在



誰か、気づいて!

趣味あれこれ

金魚

「らんちゅう」を中心に多数飼育。品評会での入賞も。自宅屋上に水槽50個ほど。朝晩の日課は水替えをすること。”土佐錦” ”出雲なんきん” ”蝶尾” ”鉄魚” ”彩錦” ”大阪らんちゅう”等希少種も飼育。錦鯉やメダカも卵から育てている。



神社

全国の神社を参拝。神社の場所、向き、祭事、他の神社との位置関係などまで調べることでその地域の人々の昔からの思いを考え、日本の古代史の真実を探求するのが楽しい。考えをまとめて、いつかは本を書きたいと思っている。